

孝謙・称徳天皇

— 崇仏を貫いた古代最後の女帝 —

奈良時代、本来男性を前提とした皇太子の地位を経て、孝謙天皇として即位し、譲位後の太上天皇時代に出家し、恵美押勝との戦いに勝利し、尼姿のまま称徳天皇として再び在位した異例の女帝。

聖武天皇と光明子の娘である孝謙・称徳天皇は、女性として生まれたことによって受けた困難に対し、時には肅々と指示を出して乗り越え、時には感情を爆発させて謀反人たちを処罰し、時には逡巡して神仏の声を聴くために瞑想して乗り越えていきました。

後世、道鏡との関係を揶揄する卑猥な言説を浴びせられていきますが、「王権と仏教」「女性と仏教」の視点から女帝の実像に迫ります。

講師 勝浦 令子 東京女子大学教授

2016年度前期「全6回」
各回・火曜日

14:55～16:25

5月 10日・17日・24日・31日

6月 7日・14日

受講料 1,000円（全6回分。第1回受講時に会場受付でお支払いください。）

定員 150名（申し込み多数の場合は抽選となる場合があります。）

対象 原則として18歳以上の杉並区在住・在勤・在学の方

申し込み方法 往復ハガキ（1人1枚）に「杉並区内大学公開講座」と明記し、住所・氏名・ふりがな・年齢・電話番号・返信用の宛先を書いて4月15日（金）[必着]までにお申し込みください。

※在勤・在学の場合は、その旨を明記してください。

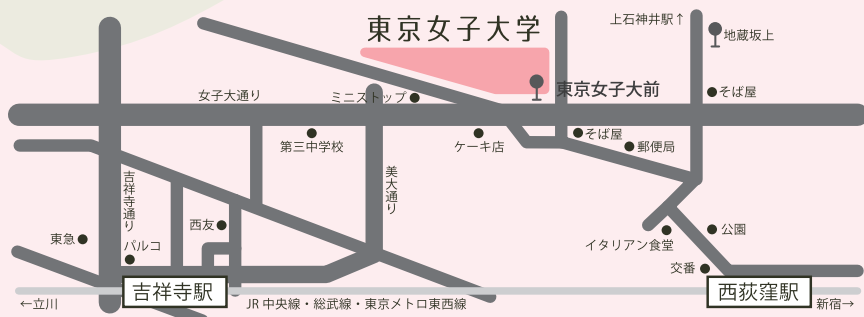
申し込み先 〒167-8585 杉並区善福寺 2-6-1 東京女子大学教育研究支援課へ

お問い合わせ 東京女子大学教育研究支援課 TEL.03-5382-6470

共催 杉並区教育委員会

Tokyo Woman's Christian University
東京女子大学

〒167-8585 杉並区善福寺 2-6-1



JR 中央線西荻窪駅下車 12 分 バス利用のときは北口より吉祥寺駅行で東京女子大前下車